
カツニヲクラフ

神技

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カツニヲクラフ

【Nコード】

N0267H

【作者名】

神技

【あらすじ】

ども、神技です！！ここでは”これポケ！？”の設定を公開して行きたいと思います！！え？タイトルの由来？漢文、”管鮑の交はり”の漢文を右側にある”カタカナ”だけ読んでみて下さい。そうすればきつとわかる筈です！！ちなみに、読みは”カツ煮を喰らうです！！”これポケ！？”ではしばらくポケモンが出せそうになりですから、こちらでゲバ達の修行編を執筆して逝こうと思います！！

こっちも4649で御座います。(前書き)

ホントはテスト期間前に投稿したかったです…(汗) ちなみに、
現在”これポケ!?”は修正中です(汗)

こっちも4649で御座います。

ども、勢いで短編集作っちゃいました！！ 神技です！！

狩「勢いだけだと長続きしない気がするんだが… 狩牙だ」

……それはそうだけど…（汗）

遊「まあ、更新不定期だろうが精々頑張れやww 遊鬼だ！！」

おう…

狩「はあ…」

ア「ちなみに、今回は何するの？」

えっと…この短編集でやることを書いていこうかと思う。

ア「へえ」

狩「ほう…」

まずは”キャラ設定”！！

狩「やっとか…」

遊「やっとかよww」

ア「やっとだね」

まあ、ぶっちゃけこの短編集はのために作ったものだからなww

遊「な、何だつてー（棒読み）」

うん。

ア「見事なスルーだね」

そか？

狩「いや、返事した時点でスルーではないだろ」

まあな。

ア「次は」短編（神歩家編）」だよ」

狩「神歩家」って何だ？」

創がどつかに建てた一部の者しか住めない孤児院。

ア「ちなみにわたしもそこに住んでたんだよ」

狩「……どうリアクションすればいいのかわからん」

ア「うみゅ」

狩「はあ……」

後は…未定っ！！

遊「未定かよ！？」

狩「はあ…」

遊「つーか短編集の始めって、普通短くねえか？」

狩「”普通”はな…」

ア「神技だからね」

そうです、俺だからです！！

狩「……斬るぞ？」

遊「グラコロ、とりあえず落ち着けww」

狩「笑うな！！」

ア「そーいえば、ショーは？」

2人「……あ（汗）」

狩「……すっかり忘れてたな」

シ「せっかくの出番なのに遅れてすみm」

ズルッ
↑バナナの皮でスリッパ

シ「しえええ…ヘブツ!？」

転倒。

2人「お見事ww」

ア「生きてる〜？」

狩「いや、バナナの皮で滑って転んだだけで死ぬわけないだろ」

ア「だよ〜」

遊「……残念ながら4時44分44秒ご臨終です……」

ええええええ!？

狩「死んだのか!？」

ア「呆気なかったね〜」

シ「ちよつと待てイ! 勝手に殺すなアアアア!！」

遊「黙れ」

遊鬼の”じんれつ迅裂”!

シ「おぼろばあああああああ!?!?!？」

クリティカルヒット! ショウはぶつ飛び、突然現れた謎の崖の

下に”せつかくの出番がアアアア……”と叫びながら消えて逝った……

遊「一丁上がりい!!」

オイ!?

ア「今度こそ死んだね」

狩「ああ……」

……では(汗)

遊「じゃな!!」

狩「……またな」

ア「ばいきゅ」

……次回は暗殺家の皆さんの設定紹介です!!

こっちも4649で御座います。(後書き)

一言。

えっと…何かすみません(汗)

キャラ設定！ー暗殺家ー（前書き）

吹いたら負け。

ユニクロ店員「さっそく装備していくかい？」

キャラ設定！〜暗殺家〜

ども、作者の神技です！！

狩「今回は我の家系か…」

まあ、チャツチャと殺つちやおうぜ！！

狩「殺るなよ？」

つたりめえだろww

狩「まずは我からだな」

行くぜ！！

名前 暗殺狩牙くはころかりが

性別 ♂

年齢 15歳

身長 170cm

体重 55.5kg

一人称 我

あだ名 グラコロ、カーリー（母のみ）

好物 グラコロバーガー

好きなポケモン ピカチュウ

外見 中の上

髪・瞳の色 黒

服装 黒のＴシャツに紅いコートを羽織り、薄い黄色のスボンを履いている。 ちなみに、ブランドは全てPIKAピカAである。

能力 ポケモンの言葉がわかる程度の能力、???（まだ不明）

詳細 目付きが悪く、キレたら愛武器”機神鋸きしんのこ【きりぎざみ斬刻】”で容赦無く斬ってくる危険な人物。

敵意がある者に襲い掛かされると、無意識に殺ってしまうと言う癖がある。

ちなみに、この世の全てよりもピカチュウが大好きで、ピカチュウを語らせると10時間は止まらないらしい。

狩「ちなみに、PIKAピカAと言うのは各地方のデパートにしか売っていない、ピカチュウ好きなら必ず一つは持っている最高のブランドだ」

さいで

葬「じゃ、次はあたしね」

うん。

名前 暗殺葬霞くわくしるそうか

性別 ♀

年齢 18歳

身長 180cm

体重 言ったら殺るよ♪

一人称 あたし

好物 ポロツク、ポフィンなら何でも好き

好きなポケモン 本人曰く、らしをこす（バグポケ!?!）

外見 上

髪・瞳の色 薄い茶・黒

服装 ところどころ紅黒いＴシャツに、紅黒いジーンズ（血で染まったのか！？）

能力 瞬間移動が出来る程度の能力

詳細 趣味は木の実を育てる事で、たまに自分でポロックやポフィンを作ったりする。

最近、謎の実無しで金のポフィンを作ること成功したらしい。

ちなみに、”歌う”は平気なのに何故かポケモンの笛を聞くと寝てしまう。

葬「ちなみに、彼氏は募集中よー！！」

はいはい。

母「早くあたしも紹介して」

あいよ

名前 暗殺母くあんころはは

性別 女

年齢 秘密だよ

身長 160cm

体重 粉碎されたいのかい？

一人称 あたし

好物 コイキングの煮付け（犯罪！？）

好きなポケモン セレビィらしい…

外見 上の中

髪・瞳の色 ブラウン

服装 家では基本的にエプロンだが、気分によって変わる。（たまにコスプレする事あり）

能力 手に触れたものを粉碎出来る程度の能力

詳細 ポケモンバトルは弱いが、自らが戦えば何千何万体系ようが必ず10分以内に全滅させる事ができる。

全伝説、神のポケモン（本気）を一時間以内で倒したと言う伝説を持つ。

ちなみに、本名は本人も忘れているみたいなので、放っとう。

母「言う事なんて何にもないよ」

そうすか。

オ「久しぶりにわし、参上!!」

うっさい、だあってろ

オ「わし、しょんぼり…」

名前 暗殺大城戸くろころおきこ

性別 ♂

年齢 60歳くらい?

身長 175.5cm

体重 60.5kg

一人称 わし

あだ名 オークド博士

好物 和菓子

好きなポケモン 全部

外見 中の中

髪・瞳の色 白銀・黒ついで

服装 白衣に赤いネクタイで、黒いズボン

能力 不明

詳細 みんな大好きオーキド博士！！（テキトーだなオイ！？）

オ「ここで一句」

言わなくていい！！

オ「わし、しょんぼり…」

ここで”伝説の家系”、”暗殺”の権力のメリットとデメリットを紹介します！！

～メリット～

物凄く強い

何らかの能力が使える

ポケモンを殺しても犯罪にならない

やむを得ない場合、殺人をしてもよい

悪の組織を一つ潰すと、どっかから一億円もらえる

全国のフレンドリーショップやデパートで買物をする時、姓を名

乗れば全品半額にもらえる

施設の貸し切りも自由にできる

くデメリットく

毎日依頼が来るので、休みが少ない
多忙

ストレスが溜まりやすい
依頼をこなせるようになるまでの修行がかなり厳しい
死にたくても死ねない

です!!

今回は初代&現在メインキャラの紹介をします!! では!!

狩「またな」

キャラ設定！ー暗殺家ー（後書き）

ちなみに、暗殺父は生きてますが行方不明のようです。

キャラ設定！ー旧・現メインキャラ編ー（前書き）

……やつと書けた…（汗）

更新遅くてすみませんでした！！

キャラ設定！旧・現メインキャラ編

ども、来週は期末、その次は英検（一次が受かったら）で追い込まれて更新が出来ず、更にスランプに陥ってしまったダメ作者の神技です…

百「だったらさっさと勉強しなさい！！」

ひゃい…

信「ここはオレ達に任す」

百「誰があんたなんか任せると言った！？」

信「ええ！？」

ア「うみゅ」 せつかくの出番なのに残念だったね」

信「おう…」

シ「……おれは？」

2人「知らない」

ア「うみゅ」

シ「ひどっ！？ ってかアンシエ、それは返事なのか？」

百「文字数勿体ないからさっさと行くわよ！！」

2人「はいい！！」

ア「うみゅ」

百「まずは私ね！」

名前 姫野百合 ひめのゆり

性別 ♀

年齢 15歳

身長 160.5cm

体重 殴りたいの！？

一人称 私

あだ名 百合

好物 モーモーミルクコーヒー

好きなポケモン フシギダネ、ルカリオ

外見 上の中

髪・瞳の色 燃え盛る灼熱の炎の様な紅

服装 白地に黒字で”気合いで道を切り開け”、裏は”気合いは己の最強の武器”と大きく達筆で縦書きに書かれた自作のTシャツ（普段はその上に何らかの上着を着る）、燃え盛る灼熱の炎の様に紅いジーパン

能力 心が読める程度の能力（忘れられていると思うが一応）

詳細 グラコロの幼馴染みで、性格が少々男らしい女の子。

グラコロの厳しすぎる修行を真似て自分も修行していたせいか、身体能力が異常に高くなった。

フシギダネをバカにされるとキレる。

サント・アンヌ号を気合いでブチ抜き、沈没させた事がある。

グラコロにグラコロとあだ名を付けたり、グラコロツールの名付け

親でもある。

現在、信司と共に行方不明である。

百「次行くわよ!!」

名前 神話信司こうわしんじ

性別 ♂

年齢 15歳

身長 165.5cm

体重 60kg

一人称 オレ

あだ名 信司

好物 特に無し

好きなポケモン アブソル

外見 中の中

髪・瞳の色 黒・薄めの蒼カラコン

服装 普通にTシャツとジーパン

能力 特に無いけどいって言うなら、どんなに酷い目にあっても絶対に死なない程度の能力

詳細 とにかく運が無い哀れな人です。

現在、縄でぐるぐる巻にされ、海の上を走ってる百合に引きずられて移動中

信「オレの詳細こんだけとかひどくね!？」

百「ここからはアンシェと交代よ!!」

信「無視かよ!？」

ア「次はわたしだね」

名前 神歩アンシェ（かみぽアンシェ）

性別 ♀

年齢 不明だが、見た目は14歳

身長 155cm

体重 秘密だよ

一人称 わたし

あだ名 アンシェ様

好物 甘い物

好きなポケモン かわいいポケモン

外見 上

髪・瞳の色 淡い桃色・透き通ったグリーン

服装 桃色の服、白いフリル付きピンクのスカート

能力 無し

詳細 ”うみゅ”が口癖で、他人に変なあだ名を付けたり、色々なポケモンの技が使えるりする神歩家出身の謎多き人物。

最近、人間ではない事が発覚。

十八番は”指を振る”らしいが、95%の確率で”流星群（暴発Ver）”が繰り出されるので、あまり意味が無い。

カリユさん所のユウナとは仲が良いらしい…

ア「こんな感じだね」 次はショーだよ」

名前 惑星^{まどいしやう}

性別 ♂

年齢 15歳

身長 170cm

体重 55kg

一人称 おれ、私^{わたくし}etc…

あだ名 ショウ、シヨ、役立たず

好物 金平糖

好きなポケモン かつこいい奴なら何でも

外見 上の中

髪・瞳の色 白銀・エメラルドグリーン

服装 白銀のコート（下にはTシャツ）、黒いジーン

能力 作者の気分で口調が変わる程度の能力

詳細 プラネットさんから”自分の分身を出して欲しい”と言われ、急遽創ったキャラ。

本来はプリンにグラコロを眠らせ、グラコロの荷物を盗もうとしていたが、耳栓し忘れて自分も眠ってしまい、窃盗未遂で御用になる一発キャラだった。

バトルの腕はある意味凄い。

シ「おれって本来一発キャラだったの!？」

ア「一発キャラじゃなくなってよかったね」

シ「よかった…」

復活!!

2人「おわあ!？ びっくりした…」

HAHAHA!!

ア「次回は何するの?」

えつと、次回は各キャラ達の手持ち紹介かな？

2人「何故に纏めてやんなかったの！？」

黙れ信司^{バカ}と役立たず。

2人「酷っ！！」

では！！

百「さらば！！」

ア「ばいきゅ」

シ「……じゃあな」

信「……またな」

キャラ設定！旧・現メインキャラ編（後書き）

……期末も英検も頑張つて来ます（泣）

狩「男が泣くな」

……はい

ゲバ戦記 はじまり（前書き）

まさかの”カツニ”復活だあああああああ！！

「マジかよwww」

ゲ『マジだよ！！　ここから、オレ達のt…モゴモゴ…』

はい、ネタバレ禁止。

それでは、どうぞ！！

ゲバ戦記 はじまり

ハナダシティ
”現代”路地裏周辺

チュンチュン…チュンチュン…

『おい、朝だぜー！ そろそろ起きろー！！』

よお、久しぶりだな。

ゼニガメのゲバだ。

3日くらい前、いつも通りボールの中でゲームしてたら、ホルダーからボールが落ちたのか突然地震が起きたんだ。

んで、地震が修まったのでボールから出てみたら…グラコロ達がどこかに消えていた。

その後、すぐにみんなをボールから出して話し合ったんだ。

最初にヒートが”多分…ボク達が弱いから、ボク達より強いポケモンをパートナーにするために捨てたんだよ！”とか弱気になってほざいてたけど、グラコロ達が初めてのパートナーのオレ達をそう簡単に棄てるわけねーと思うし…

フロウはフロウで”きつとかわいい子には旅をさせろってやつよ！

”と前向きだしな。

それに乗ったライザは”それじゃ、お言葉に甘えて旅立ちちゃう？

”とか言ってふざけるし…

最近ピジョンに進化したボスは…”俺はどちらでも構わん”とか言っておきながらも支度バツチりだし…

ボスの子分になったプラスルとマイナンは”ぼすがいくならいくー！”って、ボスに忠実だし…

それを聞いたボスが”そうかそうか、かわいいお前らが着いてきて

くれるなら俺はどこまでも行けるぞ”とか言っでデレてる(？)しよ…

『う…うん…』

『ふわあ〜』

『むう…朝か…』

『あさだー…』

『まおー…』

お、そうこうしてる内にヒートとフロウ、ボスとその子分たちが
起きて来たな。

…ところで、マイナンの”まおー…”って何だ？

『ん…後24時間…』

起きろって言うてんのにライザは何時まで寝る気だ…

……こうなったら。

『明日まで待てるか！…いつまでも寝ボケてねーで起きろライザ
あああああ！…！』

く朝食後く

『よし、まだ誰もいないな。見つかったら面倒だからさっさと行くぞ』

『そうだね』

『たとえ見つかったても張り倒せばいいのよ！…！』

『いや、それはダメだろ』

フロウ…だんだん主^{コリ}に似ていくな…

『俺はどちらでも構わん』

『構えよ！！』

『ぼすがやるなら殺るー！』

『殺るなよ！？』

……コイツらに突っ込むのマジで疲れる。

『おーい、早く行こーよ！』

いつの間にか路地裏から出ていたライザに呼び掛けられた。

『……おう』

『ん？そんな顔してどしたの？』

『……アイツらの相手に疲れたんだよ』

『……乙だね』

『……お前を起こすのも一苦労だな』

『うつ……』

よし、勝ったぜ。

何にかはご想像にお任せする。

『んじゃ、今度こそ行くぞ』

「ママー、あそこにいるのなーにー？」

見つけた！？

「あら、何かしらね？」

ま、待て、来るな、来るなああああ！！

『に、逃げるぞお前らあああああ！！』

『逃げるー！』

『張り倒s』

『フロウちゃん、今は止めといて！！』

『かわいい子分たちよ、乗ったか？　しっかり掴まってるよ？　行

くぞー！』

『はーい！』

『わーい！』

……こうしてオレ達の旅は始まった。

ゲバ戦記 はじまり（後書き）

次は、一応キャラ設定の予定です!!

ゲ『任せろ!!』

んじゃ、後は頼んだ。

ゲ『おう!!』

ゲバ戦記 メインキャラ設定（前書き）

ゲ『始まるぜ!!』

ゲバ戦記 メインキャラ設定

「はあ……はあ……逃走中のゲバだ！！」
 さくしゃ ユウキ
 神技と分身もないし、逃走

「ポケモンさん！待ってー！」

「まだ追って来んのか!？」と、とにかく逃げるぜ!」

ゲバ

種族名
ゼニガメ

性別

属性 水／強気／ツツコミ

一人称 オレ

趣味
ゲーム

詳細 主人公（通称）のライバル（通称）のパートナーという何か微妙にややこしいポジションにいる”ゲバ戦記”の主人公。

仲間も本人も気付いていないが、甲羅の若干太い模様を結ぶと大きな六芒星が浮かび上がる。

何か一言

[illegible]

「……甲羅サーフィンしろよ。」

「……忘れてたぜ……」

ヒート

種族名 ヒトカゲ

性別 ♂

属性 炎／臆病／幸薄

一人称 ぼく

嫌物 怖いモノ

詳細 主人公（通称）のパートナー^{シンジ}。

主に似てしまったのか、若干臆病で幸が薄い。

尻尾の炎は勇気を出すと大きくなる。

何か一言

『しー… 今は隠れてるからダメだよ』

……ガクガクブルブルしております。

『早く行ってくれないかな…？』

フロウ

種族名 フシギダネ

性別 ♀

属性 草／毒／氣合

一人称 アタシ

詳細 主人公（通称）とライバル（通称）の幼馴染みのパートナー。始めは可愛い女の子キャラだったのに今では主^{ユリ}に似てきてしまい、氣合いで突き進むキャラになってしまった…

流石にまだ主^{ユリ}ほどは強くないので口だけだが、今後強くなったらホントに力でねじ伏せそうだ。

右前足にダイヤの様な傷がある。

何か一言

『ユリに似て悪い？ 張り倒すわよアンタ！？』

……すみませんでした。

『次そんなこと言ったら……あつ、待ちなさいよ！！ 逃げるなああああああああ！！』

ライザ

種族名 ピカチュウ

性別 ♂

属性 電気/ボケ/???

一人称 ボク

特技 早寝遅起

詳細 ”トキワの大迷宮（ry”でグラコロに捕獲された、森のリーダーだったピカチュウ。

ちなみに、”ライザ”という名前はグラコロが3才の時に、”トレーナー”になって初めて捕まえたピカチュウに♂♀関係なく付ける”と決意した名前だった。

左耳に稲妻の様な傷がある。

実は”ボルテッカー”が使えない。

何か一言

『……ネタバレ禁止だよ？』

……はい。

『……今すぐボクの前から消えて』

ボス

種族名 ピジョン

性別 ♂

属性 飛行／ヤクさん

一人称 俺／俺様

好物 プラスルとマイナン

嫌物 眠りを妨げるヤツ、プラスルとマイナン子分たちを泣かせるヤツ

特技 射貫く様な鋭い眼光

詳細 1番道路にいるポツポ達の元ボス。

グラコロとゲバに敗北し、捕獲された。

ヤクさんはヤクさんでも”漫画家”の方ではない。

現在はプラスルとマイナンの父的存在。

しかも、ベタ惚れ。

右頬に”メ”の様な傷跡がある。

本気を出すと…

何か一言

『声を出すな…子分たちが起きるだろ』

……睨めました…

『……泣くな』

プラスル/マイナン

種族名 プラスル/マイナン

性別 ♂ / ♀

属性 電気/超無邪気/天然

好物 ボス、甘いモノ

嫌物 こわいモノ

特技 甘えること

詳細 行方不明になっていたシンジとユリがいつの間にか捕獲していた双子ちゃん。

ボスの子分的存在になった。

将来、ホントのヤクさんにならない事を祈る。

まだ子供なので、ひらがなばかりで喋る。

たまに意味不明な言葉を口走る。

何か一言

『く〜… キッチ〜ンスイスイスイ♪ キッチ〜ンスイスイスイ♪』

『すぴ〜… こんなキッチンほしかあった〜』

『ピャ〜♪』

『キッチ〜ンスイスイスイ♪』

『あ〜したのキッチン♪』

『CURRS ○ ○♪』

『T○T ○ ○♪』

……それ寝言？

『…………”鋼”』

それではさよならっ!!

ゲバ戦記 メインキャラ設定（後書き）

ゲ『次回から本編（番外編だがWW）スタートだぜ!!』

お疲れ〜

後は任しとけ。

ゲ『おう!!』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0267h/>

カツニヲクラフ

2010年12月12日02時38分発行